

目 次

町誌「歴史編上」の発刊に寄せて

真田町誌刊行会長 箱山 好猷

監修のことば

監修者 黒坂 周平

凡 例

第一編 原 始

第一章 旧石器時代

第一節 旧石器時代のあらまし

- 1 真田町の地形・地質
火山活動と旧石器時代

- 2 人類の出現と自然環境
人類の出現／旧石器時代の自然環境

- 3 日本列島の旧石器文化

- 4 石の道具の移り変わり

- 5 後期旧石器文化の展開

- ナイフ形石器文化／槍先形尖頭器を伴う文化／細石器文化／大型石斧をもつ文化
6 旧石器時代の人々のくらし

第二節 真田町の夜明け

1 真田町の旧石器文化

2 菅平高原の遺跡群

学校敷地遺跡／原谷地A遺跡／原谷地B遺跡／三日城遺跡／唐沢B遺跡

3 その他の地域の遺跡

新地蔵峠遺跡／赤石遺跡／境田遺跡

第二章 繩文時代

第一節 繩文人のくらしと文化

1 繩文文化の成立

水河期の終わりと激動の時代／土器と弓矢の発明／一萬年続く文化／土器型式と時期区分

2 繩文人の体と装い

繩文人のイメージ／身体を飾る繩文人

3 自然の恵みと利用技術

繩文人の道具／植物採集の道具／狩りの道具と方法／漁撈の道具／土器の発達と食生活／加工・調理の道具／繩文カレンダー／道具を作る道具

4 家とむらの風景

繩文人の住まい／物の移動・地域の交流

5 いのりと死

繩文人と呪術／女性を形どった土偶／魚形土製品／石棒と石刀・石剣／その他の呪術具／土壤墓と石棺墓

第二節 真田町の縄文文化

1	高原を行きかう人々（草創期）	68
2	「縄文文化」化への道（早期）	77
3	縄文文化の確立（前期）	88
4	谷間への拡散と展開（中期）	101
5	縄文文化の繁栄と遺跡の激増／四日市遺跡A地区23号住居跡の生活／中期の土器と遺跡数の変遷／敷石住居の出現／中核集落・四日市遺跡の形成／谷間への展開・長の谷／谷間への展開・傍陽の谷／高原への展開とその性格／本原扇状地への展開	116
6	台地の生活文化の衰退（後・晚期）	133
	遺跡数の激減／呪術的雰囲気の雁石遺跡／柄鏡形敷石住居の盛行／後期の土器の移り変わり／山麓台地・扇状地からの後退／晚期の土器の移り変わり／狩猟の盛行と専門集団／生業活動の不安と遺跡の衰微	137
6	真田町の縄文遺跡の立地と変遷	138
	遺跡立地の特徴／中核的集落遺跡の変遷／新しい生産形態の伝播	138

第三章 弥生時代

第一節 稲作の始まり

1 弥生時代とは

2 千曲川流域の弥生文化

第二節 真田町の弥生文化

1 弥生文化の息吹——縄文から弥生へ——

四日市遺跡／境田遺跡／雁石遺跡

2 高原に残る足跡——菅平の岩陰・洞窟遺跡——

唐沢岩陰遺跡／陣の岩岩陰遺跡

3 群馬県から運ばれてきた土器——鳥居峠の遺跡——

たかや遺跡

4 未確認の遺跡の存在も——本原扇状地周辺の遺跡——

第二編 古代

第一章 古墳時代

第一節 古墳の出現と人々のくらし

1 古墳の築造

古墳と古墳時代／古墳時代の時期区分／古墳の実年代

第二節 むらのくらしと道具

1 むらのくらし

古墳時代の自然／古墳時代の人口／人々の住まい／古墳時代の生産

2 人々の道具

生産用具／生活用具／装身具／祭祀用具

第三節 古墳時代の集落遺跡と古墳

1 集落遺跡

- (1) 菅平の遺跡 ウズラ沢B遺跡／西組B遺跡・東組B遺跡・東組C遺跡・陣の岩岩陰
遺跡・しょてばら遺跡
- (2) 長（菅平を除く）の遺跡 四日市遺跡／四日市遺跡A地区／四日市遺跡B地区／四日市遺跡C地区／四日市遺跡D地区／四日市遺跡のまとめ
- (3) 本原の遺跡 境田遺跡／北畠匠B遺跡
- (4) 古墳時代集落遺跡のまとめ

2 古墳

古墳の形と大きさ

- (1) 古墳の分布 的山古墳・下塙古墳群（1・2号墳）／北白庭古墳／広山寺古墳・竹
藪塚古墳／町下古墳群（1・5号墳）／桜林古墳群（1・2号墳）／矢倉城古墳／鶴ノ
子田古墳／九久館古墳群（1・2号墳）／西出早古墳群（1・2号墳）／村中古墳／刷
毛田古墳／藤沢古墳群（1・2号墳）
- (2) 古墳のまとめ

第二章 奈良・平安時代

はじめに

第一節 むらの形成と広がり

1 人々の住まいとくらし

2 生活用具の移り変わり

第二節 真田町の奈良・平安時代遺跡

- 1 長小学校所蔵資料
2 傍陽小学校所蔵資料

- 3 山本畠遺跡
4 境田遺跡

- 5 四日市遺跡

四日市遺跡A地区／四日市遺跡B地区／四日市遺跡C地区／四日市遺跡D地区

第三節 大化の革新と真田地方

- 1 大化の革新以前の真田地方

日本武尊の東征伝承と真田地方／大和政權の成立／大和政權の政治改革

- 2 大化の革新以後の地方の様子

革新の詔

- 3 倭名抄にみられる山家郷

信濃国と小県／小県郡名／小県郡内の八つの郷／山家郷

第四節 信濃國府と真田地方

- 1 信濃の国府

- 2 国府と真田地方

- 3 信濃國分寺建立と真田町

第五節 万葉集と真田地方

第六節 式内社山家神社と白山信仰

1 式内社山家神社

神川が潤す真田地方／官社制と神階昇叙／小県郡内の式内社／山家神社／出早雄神社

2 四阿山と白山信仰

白山大権現／白山信仰／白山信仰が伝えられた時期／白山信仰の分布／吾妻地方の白山信仰／山家神社と岩井山

第七節 国牧と実相院

- 1 町に残されている牧地名
- 2 牧のあゆみ
- 3 牧の適地
- 4 大伴氏と牧経営
- 5 実相院

第三編 中世

中世の概要と真田地方

第一章 鎌倉時代

第一節 鎌倉時代の真田地方

第二節 白山信仰—中世・近世への発展···

- 1 白山寺と岩井觀音堂···
白山寺／岩井觀音堂

- 2 白山信仰の広がり（室町時代）···
3 白山権現の奥宮と里宮···
4 近世の白山信仰···

山家神社名／上田藩との関係／信仰の広がり／神仏の分離

第二章 南北朝・室町時代···

第一節 貞治年代の古塔···

- 1 中原宝筐印塔···

- 2 実相院宝筐印塔（傍陽・萩区）···
3 彈正塚宝筐印塔（傍陽・穴沢区）···

第二節 大塔合戦と実田・横尾・曲尾···

- 1 大塔合戦···

- 2 実田・横尾・曲尾氏···

第三節 結城合戦と真田氏···

第四節 諏訪上社の勧請と同下社の造宮役···

第五節 村上氏の侵攻

1 室町時代の村上氏

2 村上氏、千葉城を攻撃

3 村上氏の戸石城進出

第三章 戦国時代

第一節 真田氏の発展

1 真田氏のはじめ

真田の名の初見／真田氏の発祥（三つの説）

2 真田幸隆と海野平の合戦

幸隆の出現／海野氏滅亡／幸隆箕輪城を頼る

3 幸隆武田氏に属す

小土豪分立の信濃／武田信玄の信濃侵攻／武田氏の配下に

4 幸隆真田氏の基礎を築く

上田原の戦い／信玄北信濃へ／武田軍敗退／砥（戸）石合戦前夜

戸石城争奪戦／戸石城の攻防／武田軍の敗戦と幸隆の行動／幸隆独力で戸石城占領

村上氏敗走

葛尾城陥落

／塩田城自落／戦後処理／幸隆尼飾城を攻める

(4) 真田氏と川中島合戦

合戦の背景／戦況／決戦と真田父子

井城攻略

幸隆上野吾妻郡へ転戦

岩槻城攻略／嵩山城攻略／武田家の内紛／吾妻郡死守／白

5 信玄・幸隆の死

真田信綱兄弟と長篠の戦い

(1) 信綱・昌輝長篠合戦に出撃 信綱真田家を継ぐ／設楽原の激戦／兄弟討死

433

7 真田昌幸上野利根郡へ進出

(1) 三男昌幸真田家を継ぐ 相続以前の昌幸／真田家を継ぐ／吾妻郡の最前線へ
(2) 沼田城攻略 関東経略の拠点／沼田城陥落／真田軍の陣立／沼田氏の最期／海野兄弟を討つ

440

8 武田氏の滅亡と昌幸

(1) 昌幸ら新府城を築く

武田氏の最期

(3) 昌幸真田氏の存続に必死 北条・織田への臣属打診／北条氏へ出仕／徳川氏に臣従

9 昌幸小県郡を統一

家臣への宛行／祢津攻め／丸子攻め／上田城を築く

10 第一次上田合戦（神川戦）

昌幸上杉景勝を頼る

(2) 徳川軍来攻

徳川軍敗退

459

451

11 合戦後の真田氏と徳川・北条・豊臣氏

(1) 昌幸の領内統治と沼田

再び徳川に出仕

名胡桃事件

小田原征伐

(5) (4) (3) (2) (1) 真田氏と豊臣秀吉

真田の所領安堵／朝鮮出兵と伏見城

471

466

12 関ヶ原合戦と上田城の攻防

- (1) 合戦の前夜　秀吉の死と東西の対立／真田父子東西に分立／豊臣方からの誘い
(2) 第二次上田合戦　信幸・徳川秀忠軍へ／上田城死守／関ヶ原戦後の処分
(3) 昌幸父子高野山へ配流　高野山麓の生活／昌幸逝く／配流中の信繁（幸村）

13 真田信繁（幸村）と大坂の役

- (1) 徳川と豊臣の対立
(2) 信繁・大助父子大坂入城
(3) 大坂冬の陣
(4) しばしの平和と信繁
(5) 大坂夏の陣

真田氏系図・真田氏一族略年表

第二節 真田氏の家臣団

1 家臣団の形成

- (1) 武田氏臣属時代の家臣団　真田氏の知行高と軍役／真田氏給人知行地検地帳にみる
 真田氏家臣団
(2) 真田昌幸の自立と家臣団の形成
(3) 上田と沼田への重臣の配置　慶長五年（一六〇〇）以前／慶長六年以降
(4) 寄親・同心制の整備
(5) 「洗馬曲尾之郷」知行帳

2 主な家臣について

- 矢沢氏——薩摩守綱頼（頼綱）・但馬守頼幸／河原（川原）氏——右京亮（左衛門尉）・綱
家／大熊氏——朝貢・五郎左衛門ほか／池田氏——佐渡守・長門守（甚次郎）／祢津氏
——常安系・昌綱系・幸直系の三流に分かれた祢津氏

第三節 真田氏給人知行地検地帳

第四節

真田氏の貫高制

1 「清水家本」にみる天正検地の見出し

2 天正検地の高付

3 夫馬と役

4 真田昌幸の天正検地と貫高制

第五節 横尾氏・曲尾氏

1 横尾氏

(1) 上州への逃亡
(2) 本拠地と居館

2 曲尾氏

(1) 塩田へ
(2) 本拠地と居館

第四章 郷村のくらし

第一節 用水路と水田開発

1 地形と開発

2 童女堰と吉田堰

3 天正年代の原之郷

4	旧長地区の開発	605
5	曲尾・洗馬の開発	607
6	軽井沢すじの谷の開発	610
	四日市	613
	第三節 理智院と白山寺	618
	第二節 四日市	613
	第五章 城館跡	618
	はじめに	627
	第一節 真田町の中世城館跡概要	628
	第二節 山城跡	627
1	ほうひの郷の城館跡	627
(1)	洗馬城跡	635
(2)	根小屋城跡（高い城・低い城）	629
(3)	横尾城跡	635
(4)	内小屋城跡	628
(5)	弥六城跡	628
(6)	猿ヶ城跡	628
2	山家郷（真田郷）の城館跡	646
(1)	真田氏本城跡	646
(2)	松尾城跡と遠見番所跡	646
(3)	日向畠の館跡	646

(5) (4) 山家の真田氏館跡
三日城跡

3 原之郷の城館跡

(1) 本原の真田氏館跡

(2) 天白城跡

(3) 櫓城跡

(4) 備場跡

第三節 堀の内

1 旧上洗馬村の堀の内

2 旧曲尾村枝郷萩の堀の内

3 真田氏の草創期における館跡

(1) 山家の真田氏館跡

(2) 甲石の館跡

(3) 日向畠の館跡

第四節 発掘された中世の遺跡

1 日向畠遺跡

(1) 遺跡とその調査

(2) 発見された遺構・遺物

(3) 遺跡の性格

2 中世の埋蔵錢

(1) 山家の真田氏館跡推定地出土の埋蔵錢
出早雄神社参道脇出土の埋蔵錢

引用参考文献

編集後記

平成九年度 真田町誌刊行会委員名簿

歴史編上 編纂委員執筆分担

歴史編上 協力者

編纂事務局（平成九年度）

索引

ケース 「大坂夏の陣図屏風」から天王寺口先鋒 真田幸村隊部分

大阪市 大阪城天守閣 所蔵